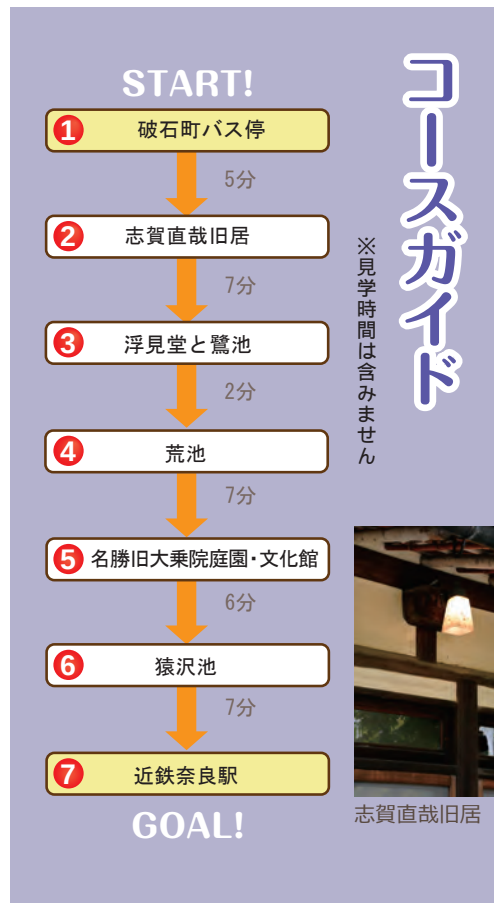


志賀直哉旧居を巡る観光モデルコース③

直哉も愛した日本庭園・ 庭園と奈良公園の池めぐり



志賀直哉旧居



旧大乘院庭園

▲旧大乘院庭園は作庭の名手・善阿弥によるもの。かつて「南都随一の名園」として公家たちに愛された。歴史の中で失われた庭園が復元整備され、2010年に公開された。

コースのポイント

奈良の庭めぐり

奈良の趣深い庭園・公園を巡るコース。志賀直哉旧居を起点に、市民の憩いの場である奈良公園、2010年に整備が終わり公開された歴史ある名勝旧大乘院庭園等を巡ります。春には草花、秋には紅葉と季節の美しさを楽しむのに絶好のコースです。夏には水辺で遊ぶかわい仔鹿の姿も見られます。

志賀直哉旧居を巡る観光モデルコース③

直哉も愛した日本庭園

庭園と奈良公園の池めぐり



●9時半～17時半（12月～2月は16時半）
●一般350円 中学生200円 小学生100円
●月曜休（祝日除く）
0742-26-6490

志賀直哉旧居 MAP②

白樺派の文豪・志賀直哉が住んだ和洋折衷の住居。この場所で名作『暗夜行路』が書き上げられました。武者小路実篤や谷崎潤一郎など多くの文人画家の集いの場所ので「高畑サロン」と呼ばれていました。



子どもたちのために 庭に作られたプール

CHECK

志賀直哉は、大正3年に結婚して昭和7年までの間に2男7女をもうけますが、うち2人が生後間もなく亡くなっています。この旧居では五女と六女が生まれています。直哉は子どもたちのために、庭の一角に小さなプールを作りました。家族に対する愛情が窺えます。

コンクリート製の小さなプール→



浮見堂と鶯池 MAP③

奈良公園の中にある名勝地。鶯が飛んできて餌をついばむと言われていいます。鶯池の中に浮かぶ六角堂が浮見堂。檜皮葺きの屋根が風情があり、奈良公園の人気スポットです。貸しボートでの一巡もおすすめです。



名勝旧大乗院 庭園・文化館 MAP⑤

大乗院とは、元興福寺の門跡寺院。15世紀末に庭師、善阿弥（ぜんあみ）が造園し、奈良で随一室町時代の面影を残す貴重な庭園で、国の名勝に指定されています。手前に文化館があり、1階の休憩スペースから庭園が一望できます。

●9時半～17時
●入館無料
●月曜休（祝日の場合翌日）12/26～1/5
0742-24-0808

猿沢池 MAP⑥

興福寺の所領だった猿沢池。古くは奈良時代に采女が帝の寵愛が薄れたことで池に身を投げた伝説があり、毎年中秋の名月には采女をしのんで「采女祭り」（うねめまつり）が行われています。



コースの
ポイント

志賀直哉旧居の庭園

直哉は、奈良の自宅に並々ならぬ熱意を持って自ら設計を手掛けています。

家屋は、日本家屋の中に、洋式や中国式を取り入れ、モダンな造りであり、庭園にもその傾向が見られます。本格的な数寄屋造りの茶室を配する日本庭園とともに、子どもや妻などプライベートな部屋からは芝生の洋風な庭が続き、子どものためのプールまで作りました。直哉は「自由な、調和のとれた、何気ない、殊に何気ないと言ふ事は日常生活では一番望ましい感じがしている（『偶感』大正13年）」と書いており、その思いが家屋や庭園に表れていると言えます。



荒池 MAP④

治水対策の一つとなっていますが、池の規模も大きく、秋になると周囲の紅葉が水面に映り、絵のような美しさとなります。楡伽山と芝生の広場が織りなす水景が美しい場所です。